

# ひだかの魅力 再・発・見

今回の「ひだかの魅力再発見」は、埼玉県花いっぱい活動に携わる金子伸昭さんをご紹介します。

▶各地の取り組み事例はこちらをご覧ください。



## 「埼玉県花いっぱい活動」

さいたまの花普及促進協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響で需要が減少している花きの消費拡大を図るため、「公共施設における花きの活用拡大支援事業」を活用し、家庭や職場で季節の花を飾って楽しむ「埼玉県花いっぱい活動」に取り組んでいます。日高市のある西部地域では、日本ばら切花協会埼玉支部、埼玉西部生花商組合の協力により、イベント中止等による影響が大きいバラなどの切り花を使ったフラワーアレンジメントを日高市・飯能市・狭山市の庁舎に展示しています。近年、花の売れ行きが減少し

新型コロナウイルス感染症による一連の出来事をネガティブにとらえるのではなく、今だからできることを考えていきたいですね。



金子 伸昭さん(大谷沢)

ている中、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの多い3～5月の花の需要に打撃を受けました。このプロジェクトは、6月から本格的に始動するようになりましたが、4月半ばに飾り始め、現在は市内の花屋さん協力してくれています。感染症の影響によって売り上げは減少しましたが、新たな発見もありました。それまで感じていた生産者と販売者の垣根がなくなっており、販売者側の気持ちもなりました。このつながりを今後大切にし、共に助け合っていけたらいいと思います。



▲庁舎に飾られたバラ



「絵本だいすき」

大根田 みことちゃん

6か月  
(横手)



「ちょっとだけよお～」

石川 岳ちゃん

1歳3か月  
(高麗川)

わが家の  
アイ  
愛撮る  
ド  
ル

お子さんの写真を掲載しませんか？市ホームページ「便利なサービス」にある「電子申請」から投稿できます。プリントした写真を提出する場合は、お子さんの氏名・生年月日、保護者の方の住所・氏名・電話番号、一言コメントを市政情報課市政情報担当へ郵送、投稿または直接お寄せください。

投稿はこちら→



## 編集室

梅雨の中、夏を感じられるものを表紙にしたいという思いで悩み抜いた8月号になりました。いろいろな案が出てくるものの、天気は左右されてばかり。やっと撮影できたカブトムシから、夏の訪れを実感しました。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、なかなか取材ができないう日々が続いています。その分、見慣れているものを注視するようにになりました。そこでの発見を市公式インスタグラムに随時、投稿していきますので、ぜひチェックしてみてください！

本紙4ページで、くりっかー、くりっぴーが紹介している新しい生活様式を実践しながら、皆さんもこの夏を満喫してくださいね。(橋本)

消防団員に  
聞きました！

災害への備えは？



坂巻 景子さん (横手)



横手 優樹さん (北平沢)